

令和5年度 企画展

マット・マイヤーさんのイラストで読む  
**越前奇談怪談集**

開催要項

**1 会期** 令和5年6月23日（金）～8月23日（水）

休館日：6月26日（月）、7月3日（月）、10日（月）、13日（木）、18日（火）

**2 場所** 福井県文書館閲覧室（観覧無料）

**3 趣旨**

当館収蔵資料のなかから、越前国にまつわる奇妙な話や妖怪が登場する話を紹介する。あわせて福井県在住のイラストレーター、マット・マイヤー氏の作品を展示して奇談・怪談の世界を理解する一助とし、福井の歴史や文化に親しむ機会としたい。

**4 主な展示資料**

・「柴田勝家の亡霊」（「真雪草紙」松平文庫）

北庄城主・柴田勝家の祥月命日には、福井城下の九十九橋あたりを、勝家の亡霊が馬に乗って駆け回ったという

・「大火を煽ぐ大法師」（「謾録」松平文庫）

1669年、福井城下を焼き尽くした大火事の際、松岡藩主が火事場に急行する途中、丸山頂上から城のほうを眺めると、煙のなか大法師が団扇で火をあおいでいるのが見えたという。

・「妻に化けた大猫」（「越前国名蹟考 足羽郡上」松平文庫）

ある日、福井藩士川澄角平の妻が2人に増えてしまい、どちらが本物か見分けがつかなくなった。ところが耳を動かして蠅を追い払った方を射止めると、たちまち大猫の姿に変じたという。

**5 関連イベント**

ゆるっとーク「奇談・怪談・妖怪談義」 講師：マット・マイヤー氏、長野栄俊（当館職員）

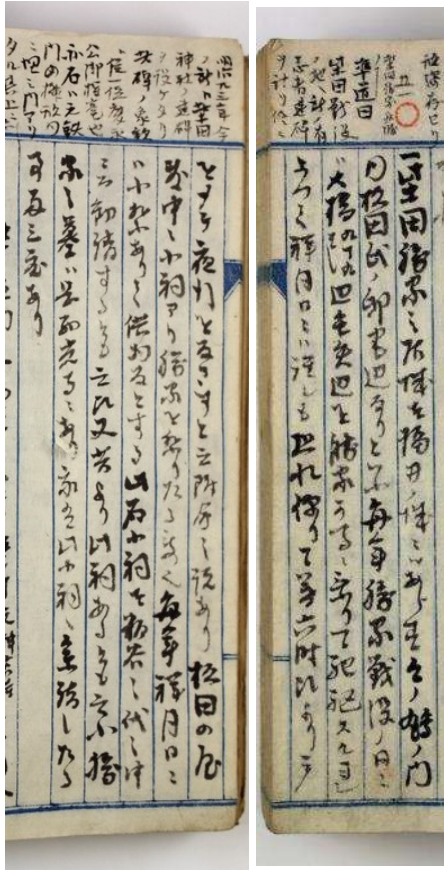
日時：7月30日（日）14時～15時30分 会場：福井県立図書館多目的ホール 参加無料

**6 3館連携展示**

県立図書館：一般特集「妖怪」（貸出返却カウンター前）

県ふるさと文学館：夏休み特集展示「福井のこわい話」（プロローグゾーン）

\*マット・マイヤー氏 イラストレーター・妖怪研究者。1982年ニュージャージー州出身、福井県在住。日本の妖怪を描いた作品集に『The Night Parade of One Hundred Demons』など4冊がある。



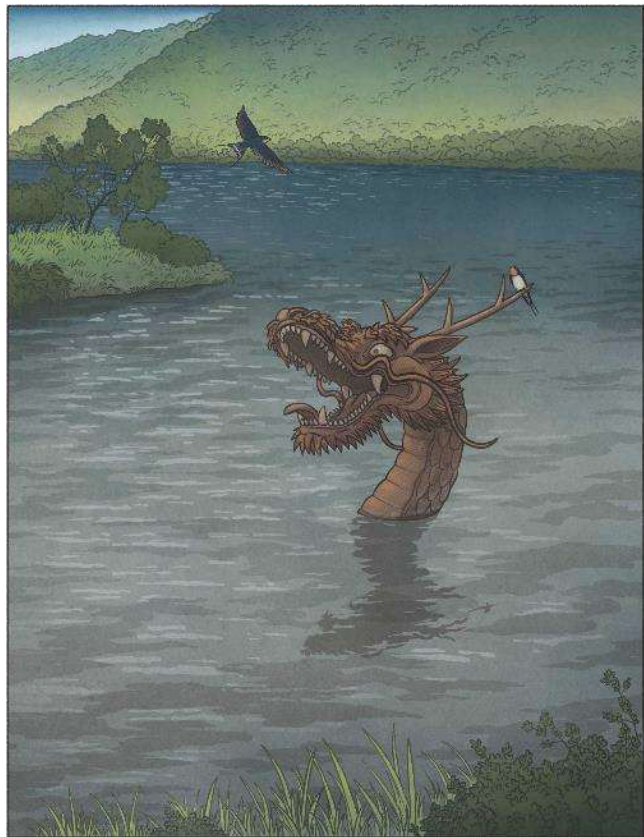
「真雪草紙」(松平春嶽著)より「柴田勝家の亡霊」  
(松平文庫・当館保管 A0143-02632)



© Matthew Meyer



「越前国古今名蹟考」より「漆ヶ淵の龍」  
(松平文庫・当館保管 A0143-21215)



© Matthew Meyer